

○ヒバリ記録

保護日時：平成28年7月4日（月）15：00ごろ

保護場所：滋賀県米原市世継

保護状況：道路沿いの駐車場において落ちているのを発見。飛べるような様子はない。  
交通事故と思われる。



受入病院：なごみ動物病院（長浜市）

症状：起立不可、胸筋の出血、皮下気腫、喀血。X-Pより骨折所見は認められず。

羽ばたくが飛べない。右翼翼端が下がる。27g。栄養状態は並。亜成鳥。

動画①：<https://www.youtube.com/watch?v=MachiEzBhqE>

治療：7/4：ICUにて酸素吸引。

7/5~6：皮下エアーを吸引除去

7/7：皮膚切開しエアー除去

7/12：リハビリ開始

譲受：平成28年7月24日になごみ動物病院から放鳥'sへ。

食欲も元気もある。少し羽ばたける。垂直方向にも1mほどは飛べる。止まっているときは未だ右翼が上がっている。受動的に翼を開く分には問題はない。翼膜損傷もなし。

動画②：[https://youtu.be/hgCx\\_FLWBvs](https://youtu.be/hgCx_FLWBvs)

スローモーションで撮影すると右翼の羽ばたきが弱い（浅い）のがよくわかる。

リハビリ：

①リハビリは、エサを確実に食べさせるため、狭い範囲から始める。ただし、少し飛べるようになっている個体なので、ヒバリの飛翔の特性を考慮して、狭いけれども高さのあるものを使用する。今回は子供用の蚊帳を利用。高さのあるケージを利用することで、ホバリングなど滞空時間を長くしていくトレーニングを行う。しっかり翼を使うよう一日に数回飛ばすようにする。

中に植物を置き、飲み水と砂遊び用の砂を置く。  
エサはミルワームとインコのエサ。

②7月30日には、目に見えて滞空時間が長くなっている。しかし、スローモーションで撮影すると羽ばたきの左右差はあまり改善されていない。

動画④：

<https://www.youtube.com/watch?v=Sgbl-1ELw8U>



③8月4日。7月30日より改善がみられる。ケージの中でも方向転換などがかなりうまくなってきているのが分かる。

④8月6日。ケージから出し、部屋全体でトレーニングを始める。高さもあるが息切れや疲れ、方向転換にも偏りがみられる。

⑤8月9日には、放鳥が近くなってきているのがわかるぐらいに回復している。

⑥8月10日。羽ばたきの左右差もかなりなくなってきている。

⑦8月13日。ホバリングだけでなく推進力にもスピードが感じられる。

動画⑤：<https://www.youtube.com/watch?v=59FEgeHlah8>

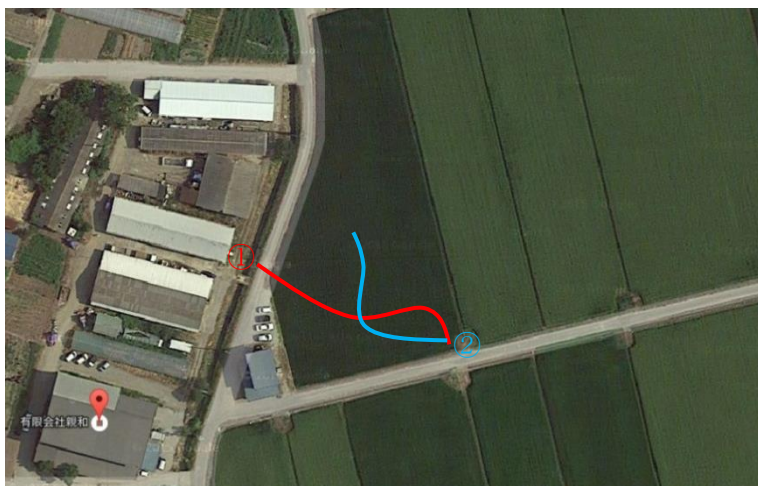
⑧8月14日。部屋中で何周もするようになってきた。方向転換も空中一転でコマのように回転するなど飛翔能力に問題は感じられない。着地もうまくなり捕まえることも困難になってきた。

⑨8月15日。部屋の中を空中で考えながらホバリングしたり、何周も飛翔したりしている。

⑩8月16日。放鳥。

環境省リングを装着。保護した場所で保護者に放鳥してもらおう。風に少しあおられながら左右に飛んで約60~70m先の田にダイブ。落ちたかと思って探しにいくと、こちらが気づく前に逆側に飛んで今度は田の真ん中にダイブ。スズメが寄ってきて一緒に飛んだ瞬間も。稲穂に隠れることもできるため、あとは自分でリハビリをしながら自然に帰ることを祈る。

動画⑥：[https://www.youtube.com/watch?v=-JV\\_R0adCJ0](https://www.youtube.com/watch?v=-JV_R0adCJ0)



【放鳥時測定】

体重：23.7g

自然翼長：86.0 mm 尾長：52.0 mm 跗蹠長：24.4 mm 後趾の爪：14.6 mm

翼開長：240 mm B+H（嘴+頭蓋骨）：35.3 mm 全長：155 mm

